

特別賞

プラチナ通りのイチヨウ並木

本村小学校 畑 里菜

わたしの家の近くのプラチナ通りを散歩すると、通りがでこぼこになっています。上を見上げると、たくさんのせの高いイチヨウの木が植わっていました。木の成長と共に根も大きくなり、地面をおし上げていたのです。たくさんのイチヨウの木が一年間を通して色々なすがたに変化し、わたしたちを楽しませてくれていました。

わたしは、イチヨウの木についてもっと知りたくなり、イチヨウについて考えてみました。

春は緑の葉がつきはじめます。

夏は葉がたくさんつき、すずしい木かげを作ってくれます。通りが全部緑で明るくなり、いきいきと元気な気持ちになります。

秋は葉が黄色になり、木が金色にそまります。地面にはおいのきついぎんなんの実が落ち始めます。ふまないように、よけながら歩くのも楽しいです。葉が落ちると、通りに黄色のじゅうたんをひいたようになります。今度は、たくさんの人が黄色のじゅうたんをふみながら歩いていきます。本当かは分からないけど、落ち葉には落ち着くにおい

のせい分があると聞いたことがあります。わたしは、落ち葉をふむ時の音とにおいが好きです。だからそれは本当だと思います。

冬は葉が全部落ちます。木がさびしくなり、寒い冬が来たと感じます。寒い朝に通りを歩くと、葉がまいもないイチヨウの木のえだが空につき出ています。通りはしんと静まり返っていて空気がすんでいるように感じます。

都会に住んでいても、自然や季節の変化を身近に感じられてうれしく思います。もっと色々な所にある自然を探してみたいです。

わたしは、「木はいいなあ」と「おおきな木がほしい」を読みました。読んでみて、木は人を助けてくれたり、想像をふくらませてくれたりしていました。この二つの本にあつたように、木によさや楽しさに気づくと、木を植えた、大切にしてくれると思います。木や花を大切にすることがふえたら、今より自然がへらなくなるし、町の中にも自然があふれると思います。みんなの気持ちもやさしくなると思います。

つい最近、長野のおじいちゃんから野菜といっしょにどんぐりが送られてきました。どんぐりには芽が出ていたのでもペランダで育てることにしました。成長してどんな姿を見せてくれるのか楽しみです。

たくさんの人に自然を身近に感じてもらい、木や花をふやして大切にしてもらいたいです。